

国語科 中学校 1年

単元名 新しい世界へ
「野原はうたう」

本時の流れ（第3時）

・本時の目標と課題について理解する。

- ・各自、前時にノートに整理した「作者」の人物像、それが表れている表現、読み手としての表現意図をたしかめる。
- ・朗読する際、特に工夫する部分と具体的な方法を考える。

各自のペースで、のびのびと声を出して練習できるように、雰囲気作りに留意する。

・各自で朗読の練習をする。

練習の様子はこちら

CLICK

・二人で朗読し合い（ペア学習）、よかった点・改良すべき点を交流する。

表現意図を聞き手に話してから、朗読する。聞き手は、「よかった点・改良すべき点」を、できるだけ具体的に言葉にして伝えることをめあてにして聞くようにする。

発表の様子はこちら

CLICK

・朗読発表会を行う。
発表者以外は「相互評価表」に評価を記入する。

相互評価表はこちら

CLICK

・本時の振り返りを行い、自己評価表にまとめを記入する。

本時の目標

- 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、「作者」の人物像や思いが伝わるように工夫して朗読する。

【本時のめあて】

・「作者」の人物像や思いが伝わるように朗読する。

【指導のポイント】

「音読、朗読」に関して、小学校では以下のように指導している。

（第1学年及び第2学年）

C 読むこと（1）

ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。

（第3学年及び第4学年）

C 読むこと（1）

ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

（第5学年及び第6学年）

C 読むこと（1）

ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。

中学校では、生徒が身に付けたこれらの力を様々な場面で活用させ、一層の定着を図るよう指導する。

活用の力を育てる評価の視点

- ・小学校で学んだ方法等を朗読に生かしている。 〈朗読〉
- ・ペアの朗読を聞き、具体的な言葉で評価を伝えている。 〈ペア学習〉
- ・自分のめあてに即して学習活動を振り返っている。 〈自己評価表〉

評価問題

授業展開例へ

単元の流れへ

HOME